

令和6年7月教育委員会臨時会議事録

- 1 会議日時 令和6年7月30日（火） 15時00分から16時55分まで
- 2 会議場所 5階 第3委員会室
- 3 出席委員 橋田教育長、中西委員、小原委員、北川委員、田崎委員、松尾委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席理事者 教育総務部長、学校教育部長、総務課長、総務課長補佐、生涯学習企画課長、生涯学習施設課長、生涯学習施設係長、学校教育課長、同課教育指導係長、同課主任指導主事、同課指導主、教科書採択審議会会长 計12名
(他議事担当2名：総務課総務係長、総務課主事)
- 6 付議事件
(1) 日程1 第15号報告 長崎市教科書採択審議会の審議結果について〔学校教育課〕
(2) 日程2 第42号議案 令和7年度使用教科用図書（市立中学校）の採択について
〔学校教育課〕
- 7 傍聴者 10名
- 8 審議経過 以下のとおり（要点記録）

委 員	<p>【15:00 開会】</p> <p>【日程1 第15号報告 長崎市教科書採択審議会の審議結果について】</p> <p>学校教育課長より説明 教科書採択審議会会长より説明</p> <p>今、令和の日本型学校教育のほうを進められて、1人1台端末を使うことになっていますが、先生方が端末を使う授業を模索と言いますか、されてるんですけど、審議会で、現行の教科書で多分、進められているので、それが変わることへの不安とか、そういうことが議論されたりはしませんでしたか。1台端末を使うことを想定した教科書の選定。</p>
教科書採択審議会会长	ご質問ありがとうございます。不安という点では、特別だされたことはなかったんですけども、1人1台端末を持つということで、ＩＣＴ機器を使った学びという点ではどうであるか、あるいはQRコードの先にどのような資料があるのかという点に関しましては、どの種目に関しても、必ず審議はいたしました。
委 員	この資料ではなく、先生方のアンケートのところでお聞きしたいんですけれども、この校長先生方のアンケートの数が教科によって少ないんですけれども、

	ども、これは例えば中学校の先生は専門なので、国語担当の校長先生が国語をアンケートを書かれているのか、それとも全く教科に偏らずアンケートをしたのか、教職員も一緒なんんですけど、そこを教えていただいていいですか。
教育指導係長	おっしゃるとおりで、校長先生方には、ご自分の専門の教科の教科書を見ていただくということで、道徳のみ、教科関係なく見ていただくということで、お願いをしています。
教 育 長	教職員も同じですか。
教育指導係長	教職員も同様です。自分の専門の教科を見るということと、道徳はすべての教師が見るということとしております。
委 員	今の審議会会長のお話で、アンケートではこう答えましたけれども、再度、専門的見地から見直すと、こうなりましたというお話があったんですけども、そこをもう少し教えていただいていいですか。
教 科 書 採 択 審 議 会 会 長	<p>具体例をお示ししたほうがよろしいかと思いますので、例えば数学をご覧いただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>数学に関しては、選定委員会では第1位が啓林館、第2位が東京書籍ということになりますて、我々審議会としても、同じように啓林館を1位、2位を東京書籍といたしました。ただ校長アンケートの結果並びに教職員アンケートの結果をご覧いただきますと、第1位は、校長、教職員とともに東京書籍が1位、第2位は、校長が啓林館が2位、教職員が大日本図書が2位ということになっておりました。この度、このアンケートの結果と審議会並びに選定委員会の結果が逆転することになってしまったんですけれど、この点について検討したことは、まず例えば啓林館に関しましては、具体的に例えば家庭での学び直しができるような、例えば先ほど小原委員からもありましたけれども、QRコードなども見ていくと、授業動画のような解説動画が付いているということもあって、家庭での学び直しが非常にしやすいような工夫が見られるということであったり、あるいは小学校を見ましても、今、なるべくそれぞれの進度に合わせた学びというのが進められようとしているんですけど、そういった観点から見ても、この啓林館の教科書は個別最適化を進めていく上で、非常に優れているというようなご判断が示されました。</p> <p>さらには、学び直しという点だけではなく、発展問題も非常に充実した発展問題が示されているということなど、あるいは例題などが示される前に、どういった例題なのかという説明の項目などが非常に丁寧に付けられているというようなご説明を受けました。こういった観点から、アンケートでは東京書籍が教職員のほうでは高かったんですけど、これから長崎市の子どもたち、個別最適な学びを進めていくようになったときに、あるいは様々な子どもたちがいて、学び直しだったり発展的な学習をしていくといったときに、これから子どもたちには啓林館の教科書を使うことがいいのではないかというような、そういったところを専門的な見地からというふう</p>

	な言葉で表現をさせていただきました。
委 員	確認なんんですけど、今の専門的な見地からというのは、審議会としてでしたっけ、選定委員会のほうとして。
教科書採択審議会会長	いえ、選定委員会の専門的な見地からご説明をいただきました。
委 員	選定委員会のご判断は分かったんですけれども、それを受け、審議会としては、それを結論としては是認したということになるとは思うんですけども、どういう根拠でそこの選定委員会の結論を是認したということになつたんでしょうか。
教科書採択審議会会長	採択審議会としては、アンケートの結果、教職員が支持されているものは、教職員として使いやすいだろうということを考えました。使いやすいのではないかということで、ご説明させていただいたんですけども、使いやすさというのは当然大事ながら、やはり、これからの中崎市の子どもたちにどういった学びをしてもらったほうがいいんだろうかということを審議しまして、選定委員会のご説明に妥当性があると判断をしたということになります。
委 員	理科も、アンケート結果と結論が違うということだと思うんですが、アンケート結果の審議経過のところを見ますと、生徒、教師にとっての使いやすさというところも1つ観点に入っているということなのかなと思うんですけども、そうすると、先生たちの評価としては、大日本図書のほうが高かったので、そうすると先生にとっては使いやすいということなんじゃないかなと思うんですが、そこを覆したというところの、審議会でのご議論の経過を教えていただければなと思います。
教科書採択審議会会長	ありがとうございます。まず、理科に関しましては、教職員のアンケートをご覧いただいたら分かるとおり、大日本図書が39票、東京書籍が30票ということで、票の差としては、必ずしも非常に離れてるわけではないということを確認いたしました。その上で、使いやすさという点では、確かに大日本図書が数としては多くなっているんですけども、大日本図書は使いやすさという点では、確かに東京書籍のほうが使いやすいということはあるかとは思ったんですが、ただ例えば別の観点から見ますと、東京書籍は1回の授業が見開き2ページにまとまっているという点が選定委員会からご説明があつたんですね。それはいったいどういう意味があるんですかということをご質問したところ、理科は実験なども多いので、この見開き2ページで内容を一目で見られるということ、そしてページの行き来をしなくて済むということは、安全面でも非常に優れているし、それでありながら情報量は変わらないということで、この点で実は今、東京書籍は非常に使いやすい教科書になっているなというご説明があり、その点を納得したところでした。
	ただやはり、大日本図書と東京書籍では教科書の流れっていうのも、やや違う、学習の展開がやや違っているところはあって、その点では、恐らくこ

	<p>これまでとは違うので、戸惑うところもあるかもしれないんですけど、学習者の視点の広がりというところで見たときに、東京書籍は発展的な学習とか探究的な学習をしていくような学習者の視野の広がりが見られるというところも、選定委員会からご説明があり、その点、我々としては妥当性があるなというふうに判断したところでした。</p>
委 員	<p>細かいところで申し訳ないんですけど、中学校の地理ですね、社会科の。この選定資料を見ております。審議会では出なかったかもしれないんですけども、もし出ていたら教えていただきたいんですが、選定資料の大きな2番、学習指導要領の語句等や内容等を踏まえたっていうのが、それぞれの特性を図る上で必要というところで、東京書籍はずっと○なんすけれども、私見せていただいて、日本文教出版が、この2のところにあまりあがつてなかつたんで、見せていただいたんですね。そうすると、(1)の1つ目の基礎的、基本的な知識、技能のところでは、日本文教出版は○なんすけれども、私見せていただいたら、かなり振り返りとかまとめのところで、知識、技能のテストみたいなところがあつたんですね。どこがだめというか、違うのかなというのが、ここに書かれていないので、そこが分からなつたことと、一番下の(6)の東書、教育、帝国は○で、東北地方の伝統産業や伝統文化を効果的に取り上げるとなつてゐるんですけど、日文も同じように東北地方の文化や伝統が取り上げられていたんですね。これどこが違うのかなというのが分からなかつたんで、もし審議会で話があつて、先生が覚えていらっしゃつたら教えていただければと思います。</p>
教科書採択審議会会長	<p>ありがとうございます。今、ご指摘いただいた点に関しては、審議会のほうでは議論になりませんでした。ですので、○になつてゐる理由というところは、今のところ、こちらではご回答することが難しいかなと思います。申し訳ありません。</p>
委 員	<p>道徳についてなんすけど、説明にもありましたように、教職員309とか校長22とか、圧倒的に数は多いんですけど、多分、説明の中の道徳ノートが効いているのかなと思つたりもするんですけど、内容的には日本文教出版のことについては、何かありましたか。</p>
教科書採択審議会会長	<p>この点は、審議会の中でも、集中的に審議をさせていただいた点でした。特に日本文教出版が支持をされているということで、内容的に一体、光村図書や東京書籍とはどういった差があるんだろうというところだったんですけど、日本文教出版については、例えば物語、文章、教材ですね、教材が載っている後に、必ず問い合わせているというような形で、パターン化された教科書になつてゐるので、ある意味、先生方にとっては、非常に今までシンプルで使いやすかつたのかなというふうに思いました。</p> <p>一方で、例えば、東京書籍や光村図書、これ両者に共通していることなんすけれど、学習の仕方、その教材が載つて、問い合わせが載つてゐる後に、みんなでこういうことをディスカッションしてみようであるとか、こういう学習活動をしてみようというような、学習の仕方が非常に詳しく載つてゐる、様々なパターンが載つてゐるので、指導の仕方を工夫できるという点が、と</p>

	<p>てもいいんじゃないかというふうな判断になりました。そうすることで、日本文教出版と競ってはいたんですけど、第2位の光村図書のほうが主体的な学びを推進しやすいということ、さらには、先ほどご説明させていただいたとおり、東京書籍のほうは、いじめとか情報モラルなどの教材がとても充実していることとか、あるいはデジタルコンテンツが豊富なので、指導方法が柔軟にできるということ、さらには、小学校のときに扱った内容を、再度扱うというような工夫も見られたので、発達段階に応じた子どもたちの成長みたいなものが見えるというようなところが優れているというふうに判断をして、こういった順位になりました。</p>
委 員	<p>付け加えてなんですけども、私も道徳ノートを見せていただいたんですね。道徳ノートがあることについて、やっぱりプラスマイナスはあると思います。指導が限定されるということですね。でも先生方にとっては教材の準備が要らない、道徳のプリントを用意しなくていいというところがあるんですが、そこについてはどのような話があつてましたか。</p>
教科書採択審議会会長	<p>この点に関しても、審議会でいろんなご意見が出ました。日本文教出版のほうの別冊のノートを見てみると、比較的、内容とでもシンプルなんですね。枠が2つ設けられていて、こういうことを話し合ってみようというようなことが書いていて、それが全部同じようにパターン化されているということになるんです。そうしますと、使っても使わなくても、大学ノートとあまり変わらないようなものになっていました。</p>
一方の、例えば東京書籍なんですけども、東京書籍はQRコードの先に実はワークシートが付いていて、そこからワークシートを取ることができる。その内容がパターン化されているものよりも、実は中身が充実されているということも分かってきました。そういう観点からすると、先生方もQRコードの先のワークシート取っていただくことで、働きやすさ、進めやすさにもつながるんじゃないかという話になりました。	
委 員	<p>道徳のところなんですが、ちょっと確認なんですけども、選定委員会のほうからは、第2位が光村図書というような話だったということでおろしいんですかね。</p>
教科書採択審議会会長	<p>そうです。</p>
委 員	<p>選定委員会からは、順位付けされて報告されるんですか。</p>
教科書採択審議会会長	<p>そのとおりです。1位と2位の順位はご報告いただきました。</p>
委 員	<p>選定資料を見ると、☆が光村図書は多分5で、○が4で、日本文教出版は☆が5で○が5なので、この表だけを見ると、日本文教出版のほうが2位のように見えるんですが、それとは異なる評価を選定委員会のほうは口頭で報告されたっていうことなんでしょうか。</p>

教科書採択審議会会長	<p>そうですね、この点に関しては、☆と○の数では、おっしゃるとおり、光村図書より日本文教出版のほうが上なんんですけど、なんで光村図書が2位なんでしょうかということは確認をいたしました。その結果、特に選定資料の①の2の(3)ですね、指導方法を工夫できるように適切に配慮できているかという点、この点が、光村図書が☆が付いていて、日本文教出版が○なんですね。ここで大きな差があるということを、選定委員会からはご説明がありました。この点がまさに思考ツールというのが非常に多く、光村図書のほうで提案されていることで、道徳の中で特に重要な多面的な見方であるとか、多角的な見方をすることが可能になっているということが、特に評価をされたということで、○の数としては、1つ文教出版のほうが多いんだけども、例えば、ここの2の(3)の☆、ここが特に道徳に関しては重要であることを鑑みれば、こちらを2位として判断したというようなご説明があり、我々としても、その点を妥当であるというふうに評価をしたということになりました。</p>
委 員	<p>ありがとうございます。もう1点よろしいですか。今の道徳のところは、先ほどありましたとおり、教職員の方々、圧倒的に多いということなんですけれども、先ほどからいろんな科目の中で判断の観点として、教師を支える教材となっているかというのがあがっていたかと思うんですが、これだけ圧倒的に違うとなると、教師を支える教材となっているかという観点からするとどうなのかなと思うんですが、その辺り、ご議論どんな感じだったんでしょうか。</p>
教科書採択審議会会長	<p>そうですね、先生方に支持されているということは、我々としても無視できないということは、しっかりと話し合いました。ただやはり日本文教出版が、現行の教科書であるという点が、使いやすさとして判断されやすいんじゃないかという、マイナスの面も審議をいたしました。やはり今、使っているので使いやすいというのは、多分、当然だと思うんですね。特に道徳に関しては教科化されたのが、この一歩前からですので、これから学習の仕方、指導の仕方も発展させていかなければならないということを考えれば、もしかしたら使ってみたら、非常に使いやすい、思考ツールがこれだけ充実している、日本文教出版以外の2者は充実しているので、これから先生方がもっと多様な教え方がしやすくなるんじゃないかということで、判断いたしました。</p>
教 育 長	<p>—第15号報告 本報告をもって了承—</p> <p>【日程2 第42号議案 令和7年度使用教科用図書（市立中学校）の採択について】</p> <p>学校教育課長より説明</p> <p>それでは、1種目ずつ審議を行い、どの教科書を採択するか決定したいと思います。</p>

	まず国語から行います。
委 員	学習指導要領にあるように、語彙について特に留意されて、それから学びの扉で何をどのように学ぶかのヒントがあるのが光村図書で、それから情報も扱ってることで、審議したいと思います。それから三省堂も、主体的、深い学びは学びの道しるべのところで一貫して書いてあって、そこはいいのかなとは、小さな図書館の図書の紹介もあって、これもまたいいのかなと思いました。ただボリュームが少し多すぎやしないかなというのが、使えるかなという気はしました。以上です。
教 育 長	ほかにご意見等ございませんか。よろしいでしょうか。 それでは、質疑を終結いたします。 それでは、まず国語について、光村図書に決定することにご異議ありませんか。
[全委員]	[異議なし]
教 育 長	ご異議ありませんので、光村図書に決定することとします。 次に、書写について審議を行います。
委 員	やっぱり、書くことが学習になってるのかな、単に書いて終わりではなくて、学習として書くのかなという、そういう工夫が見られたと思います。
教 育 長	ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、質疑を終結いたします。 書写については、審議会の推薦順位1位、教育出版となっております。教育出版に決定することにご異議ありませんか。
[全委員]	[異議なし]
教 育 長	ご異議ありませんので、教育出版に決定することといたします。 次に、地理について審議を行います。
委 員	東京書籍のものは一見資料集のようで、資料が多いんですけども、写真も多くて、その分、その資料をいかに先生がうまく使って授業をするかなという点で支持されたのかなと思います。帝国書院は写真が多くて、バラエティには富んでるんですけども、それをどんどん使ってくださいみたいのが、先生も生徒も使いやすそうではあるんですけど、まあ社会の先生の、好きな先生にとってはちょっと物足りないかもしれないなど、逆に、思いました。
教 育 長	ほかにご意見ありますか。 なければ、質疑を終結いたします。 地理につきましては、審議会の推薦順位1位は東京書籍、東京書籍に決定することにご異議ありませんか。

[全委員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、東京書籍に決定することとします。</p> <p>次に、地図について審議を行います。何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、質疑を終結いたします。</p> <p>地図については、審議会の推薦順位1位は帝国書院となっております。帝国書院に決定することにご異議ありませんか。</p>
[全委員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、帝国書院に決定することとします。</p> <p>次に、歴史について審議を行います。</p>
委 員	<p>東京書籍も日本文教出版もそうなんですけど、東京書籍は学習の流れが重視されているということと、それから現代的な課題で、自分ごととして考えられるかなというふうに思いました。日本文教出版も学習の流れがちゃんと明確になってる。それから特徴として歴史との対話で、未来に生かすことが考えられてるなと思いました。ちょっと嬉しかったのは、歴史に学ぶのところで、孫文と梅屋庄吉に触れてあったところが、ちょっと嬉しかったです。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、質疑を終結いたします。</p> <p>歴史について、審議会の推薦順位1位は東京書籍となっております。東京書籍に決定することにご異議ありませんか。</p>
[全委員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、東京書籍に決定することといたします。</p> <p>次に公民について、審議を行います。</p>
委 員	<p>東京書籍、これも同じく学習の流れ重視で、18歳でおとなを意識して、契約と支払とか、スマホとあるいは消費者トラブルとか、現代的なところが触れられていてよかったです。帝国書院は人権中心ですかね、自由権とか平等権とか社会権とか、権利面についてちょっと特色があったかなと思います。</p>
教 育 長	<p>ほかにご意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、質疑を終結いたします。</p> <p>公民について、審議会の推薦順位1位は東京書籍となっております。東京書籍に決定することにご異議ありませんか。</p>
[全委員]	[異議なし]

教 育 長	ご異議ありませんので、東京書籍に決定することとします。 次に。数学について審議を行います。
委 員	審議会では、第1位が啓林館で、2位が東京書籍ですけれども、東京書籍は、教職員の方のが多くて、ほかの科目とは違って、これは今まで使われている出版社ではないって、使い慣れてるからという理由で、東京書籍のアンケート結果が良くなってるわけではないということになるので、そうすると、使い慣れてるというところではない観点から、職員の先生方が、現場の先生方がこれが一番いいと思っていらっしゃると、しかも圧倒的に思っていらっしゃるというところがあるので、本当に啓林館ということでいいのかなという疑問を感じています。ただ個人的に見た感想としては、啓林館でいいのではないかと思うんですけども、ちょっとやっぱり現場の先生方の意見をあまりに、もう少し考慮した形で議論しなきゃいけないのかなと思った次第です。
委 員	それに関連して。多分、審議会あるいは選定委員会で重視されたのは、1人1台端末ではQ u b e n a (キュビナ) の活用がすごく重要。個別最適な学習、自分なりに家庭学習できるなど、その点が、今後これがいいんじゃないのかなという、この評価になったのではないかと思います。 それから、啓林館は例題がすごく多くて、場数を踏んで、それで端末を使って練習問題も多くて、だからそういうようなところがまあ、いいか悪いかは別にして評価されたんじゃないかなと。
教 育 長	ほかに、ご意見ございますでしょうか。 それでは、質疑をいったん、終結したいと思います。 数学については、審議会での推薦順位1位は啓林館、2位が東京書籍となってます。一部、異議があるという捉え方をしてよろしいですか。
委 員	1位、啓林館に異議はないです、結論から言うと。先生方の意見は尊重しなきゃいけないなと思いましたけれども、審議会の議論経過も聞きまして、納得はできましたので、全会一致で異議ないです。
教 育 長	ほかの委員のほうから、何かご意見ございますか。分かりました。 それでは、なければ質疑を改めて終結させていただきます。 数学について、審議会委員の推薦順位1位は啓林館となっております。啓林館で決定することにご異議ありませんか。
[全 委 員]	[異議なし]
教 育 長	ご異議ありませんので、啓林館に決定することといたします。 次に理科について、審議を行います。
委 員	特に1位の東京書籍と、2位の大日本図書は、どちらも大体、実験結果、考察まとめの形で理科は学習を進めるように、それで科学的思考を身に着けるというようなことで、ほぼ似てるんですけど、東京書籍はレッツスタート

	<p>のところで、問題発見して生活の中から考える仕組みで、大日本図書は既習学習を振り返って取り組むという、ちょっと入り口のところが違っているので、そのところをどう評価するかなということだったんだろうと思いません。先生方の評価も、若干、大日本のはうが、若干ですけれども多いということはある。</p>
教 育 長	<p>ほかに、ございますでしょうか。 なければ、質疑を終結いたします。 理科につきましては、審議会の推薦順位 1 位、東京書籍ということになつております。東京書籍に決定することにご異議ありませんか。</p>
[全 委 員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、東京書籍に決定することとします。 次に、音楽（一般）について、質疑を行います。何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。 それでは、質疑を終結いたします。 音楽（一般）について、審議会の推薦順位 1 位は教育芸術社となっております。教育芸術社に決定することに、ご異議ありませんか。</p>
[全 委 員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、教育芸術社に決定することといたします。 次に、音楽（器楽）について、審議を行います。ご意見・ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、質疑を終結いたします。 音楽（器楽）について、審議会の推薦順位 1 位は教育芸術社となっております。教育芸術社に決定することにご異議ありませんか。</p>
[全 委 員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、教育芸術社に決定することとします。 次に、美術について審議を行います。</p>
委 員	<p>開隆堂のゴッホのひまわりの表紙がすごく素晴らしいものでびっくりしました。光村図書は身近な教材、マンガとかデザインとか、表現の工夫で、それから日本画を楽しむというようなことで、多様性があるかなと思いました。日本文教出版のはうも美術の世界の多様性を知るということで、日本文化を吸収してほしいという意図が感じられたところが特徴的かなと思いました。</p>
教 育 長	<p>ほかに、ご意見等ございますでしょうか。 なければ、質疑を終結いたします。 美術について、審議会の推薦順位 1 位は光村図書となっております。光村図書に決定することにご異議ありませんか。</p>

[全委員]	[異議なし]
教 育 長 員	<p>ご異議ありませんので、光村図書に決定することとします。</p> <p>次に技術について、審議を行います。</p>
委 員	<p>これだけ多分、開隆堂、委員の11票で、東京書籍が1票あって、ちょっと全員じゃない形だったんですけど、多分、私もこれ迷いますね。開隆堂は専門性が高くて、ただ、まとめのところで、ちゃんと学ぶべきものは何なのかということが整理できたんで、これがなければ、ちょっと専門的、特に免許外の教員にも分かりやすくという、書いてありますけど、多分まとめのところがあるから。東京書籍は、各章の資料で問題解決例が実際にこういふうにして、この問題解決してますよという写真、担当者とか出てきて、この辺がまた一方ではなかなか実社会につながるなと思って、私自身は迷いましたけど、審議会はこういう結果になったんだろうと思います。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。ほかにご意見等ございますか。</p> <p>なければ、質疑を終結いたします。</p> <p>それでは、技術について、審議会の推薦順位1位は開隆堂になっております。開隆堂に決定することに、ご異議ありませんか。</p>
[全委員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、開隆堂に決定することとします。</p> <p>次に家庭について、審議を行います。何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、質疑を終結いたします。</p> <p>家庭について、審議会の推薦順位1位は開隆堂となっております。開隆堂と決定することに、ご異議ありませんか。</p>
[全委員]	[異議なし]
教 育 長 員	<p>ご異議ありませんので、開隆堂に決定することとします。</p> <p>次に、保健体育について、審議を行います。</p>
委 員	<p>G a k k e n のほうは、今の第4次教育振興基本計画の目指すところ、W e l l - b e i n g (ウェルビーイング) を目指すというふうになっているので、そのことが明確に触れられていました。それから、大修館のほうは、各章とも本編があって、巻末資料があって、特集資料があって、コラムがあってと分かれています、それぞれはいいんですけど、まとまりに欠けるかなという。それからG a k k e n のほうは災害の警戒レベルの新しい表記のところが、説明付きで詳しく載ってた。すごくページの隅に小さく載ってて、いっそ、それ1ページごつそり付けたらどうかなと思いましたね、以上です。</p>
教 育 長	ほかに、ご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。

	<p>それでは、質疑を終結します。</p> <p>保健体育について、審議会の推薦順位1位はGakkelnとなっていま す。Gakkelnに決定することにご異議ありませんか。</p>
[全委員]	[異議なし]
教育長	ご異議ありませんので、Gakkelnに決定することとします。 次に、外国語について審議を行います。
委員	Gakkelnのほうは多分、日本語が一番少なくて、ほぼ英語のみで、使 いやすい生徒と使いにくい生徒が出そうな気がしましたけど、でも今の時代 そうかなと思いました。それから、どちらも資料編なんてところが高校入試 に役立つなと思って見ました。
教育長	ほかにございませんでしょうか。 今の小原委員のお話は東京書籍さん。
委員	東京書籍ですね。
教育長	ほかにございますでしょうか。 なければ、質疑を終結いたします。 外国語について、審議会の推薦順位1位は東京書籍となっております。東 京書籍に決定することにご異議ありませんか。
[全委員]	[異議なし]
教育長	ご異議ありませんので、東京書籍に決定することとします。 次に、道徳について審議します。
委員	委員がご質問されていたように、教職員の支持は、すごく圧倒的に日本文 教出版が高い。それは道徳という教科が、教科化される前から、多分、教員 間の格差がすごく大きくて、日本文教出版、道徳ノートがあるとか、そういう 意味ではとても使いやすいんだろうなというふうには思いました。ただ新 しい道徳が多面的、多角的に考えるという、答えは1つじゃないよというの が非常に重視されているわけですね。そういう点では、東京書籍には考 えを見つめようというコーナーで、何を学ぶか、どういうふうにこれは発展す るのかなという、そういうふうな多面的、多角的にするようになっていた し、それから光村図書のほうも、道しるべのところで、同じように何を学ん でいくのかなという、多面的、多角的のほうが、道徳ノートがあるのとは反 対に、審議会では先生たちにこうあってほしいという願いで、ちょっと使 いにくいわけじゃないんですけど、こちらを選ばれてるのかなと思いました。
教育長	ほかにご意見等ございますでしょうか。松尾委員。
委員	今おっしゃったように、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、

	<p>とてもいいところがあって、かなりいい、☆とかそういう評価がついてはいるんですけども、やはり日本文教出版も今まで使ってたと思うんですけど、道徳ノート、一面的には使いやすいんですけども、その反対の視点で言うと、やはり子どもたちの考え、思考の範囲が狭められる、視点が示されると、やはりそこに焦点化してしまうんじゃないかということで、道徳ノートは便利な面、反対の面もあるかなというふうに話が進みました。私もそう思います。ですので、もう少し子どもたちがいろんな思考を広げられるように、視点はなるべく少なく、東京書籍は書き込むところとか自由にあるので、私も東京書籍がいいと思いました。</p>
委 員	<p>私は当初は日本文教出版、職員の方々も圧倒的なので、ちょっと無視できない数だろうなと思ってましたので、やはり文教出版にすべきかなと思ってましたけど、今日のご議論を聞いて、専門の方々は東京書籍のほうがいいというご意見ありましたので、そして納得できるものだったので、東京書籍でいいかなというふうには思いました。感想なんですけど、この審議会資料で、例えば道徳でも東京書籍の理由で、教職員アンケートが2位であるとか書いてあるんですけども、結局、教職員アンケートはあまり判断材料にしていないものが審議会だと思うので、なんかこう教職員アンケートのことを書かれたり、指導しやすいみたいなことがほかの教科でもありましたけれども、一貫していない感じがあって、いいとこどりだけされてる理由になってるので、分かりづらいのかなという、1人の感想です。</p>
教 育 長	<p>ほかに、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 なければ、質疑を終結いたします。</p> <p>道徳について、種々意見がございましたけれども、審議会の推薦順位1位は東京書籍ということになります。皆様方のご意見も、それに沿ったご意見かなというふうに理解しております。したがいまして、東京書籍に決定することにご異議ありませんか。</p>
[全委員]	[異議なし]
教 育 長	<p>ご異議ありませんので、東京書籍に決定することとします。</p> <p>ほかに事務局から、報告事項等ございますか。</p> <p>以上で、本日の全日程を終了いたしました。</p> <p>これをもちまして、令和6年7月教育委員会臨時会を閉会いたします。</p>

【16:55閉会】

署名委員

署名委員
